

Title	プロスポーツの集客要因に関する一考察
Sub Title	
Author	李康勲(I, Ganfun) 嶋口充輝
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1999
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 1999年度経営学 第1485号 可能
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001999-1485

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

所属ゼミ	嶋口 研究会	学籍番号	89828066	氏名	李 康勲
(論文題名)					
プロスポーツの集客要因に関する一考察					
(内容の要旨)					
<p>本研究は、「浦和レッズ」「鹿島アントラーズ」という集客力の優れたクラブにおける集客要因を明らかにし、安定した集客に向けての提言を目的とする。また、研究方法としては文献研究及び事例研究に基づき、解釈的アプローチを採用した。</p> <p>まず、スポーツ観戦行動に影響を及ぼす要因に関する文献研究や「地域密着型の市民クラブ」という J リーグの理念から、「チームの特性」「地域性」「クラブのマネジメント努力」のような集客要因が想定されたが、集客現象を説明する絶対的要因ではないのが調査で分かった。</p> <p>チームの特性・地域性・クラブのマネジメント努力が集客につながるように働く何かを発見するために、クラブにとって顧客であるサポーター集団に注目して社会心理学的考察とスタジアムでの観察を行った。その結果、サポーター集団を集団にとどまるように作用する「集団凝集性」が集客につながる重要な変数であることが分かった。</p> <p>浦和レッズの最大の集客要因は、浦和レッズのサポーター集団そのものにある。レッズサポーターならではの熱狂的な応援の雰囲気が生じる一体感・連帯感・感動・興奮によるサポーター集団活動の魅力とサポーター集団所属の精神的報酬である「日本一のサポーター」というプライド・誇りがサポーター集団所属の魅力になり、それが集団の凝集性を高める要因となっている。また、電話予約によるホームタウン優先のチケット販売システムや OSC など、クラブのマネジメント努力も集客の支援システムとして働いている。</p> <p>一方、鹿島アントラーズの場合は、チームの存在が地域社会を統合させ、地域社会の顔となり、地域のサポーターに誇りとサポートする楽しみを与えている。サッカーの持つ集団表象性・社会統合機能により鹿島のサポーター集団に誇りと地域アイデンティティが生まれ、それがサポーター集団の凝集性につながっている。また、チケットの電話予約抽選販売システム、顧客データベースの活用、手作りメディアの開発など優れたマネジメント努力もサポーター集団を囲い込んでいる。</p> <p>安定した集客に向けては、サポーターとの信頼関係構築により、自覚的サポーター度の高い「参戦型」サポーターを育てる地道な努力が求められる。</p>					